

春
夏
秋
冬

26

2010 四季のコンサート だより

2010年10月1日発行

浜松音楽友の会

事務局:〒430-0904浜松市中区中沢町44-11

電話連絡 (053) 473-3579 (原)

e-mail:hamatomo@palette.plala.or.jp
http://www6.plala.or.jp/hamatomo/

まっすぐなりサイタル

声楽家 市原多朗

なんと素敵な街だったことでしょう！
何と感じの良い方々、あたたかいお客様であったこと
でしょう！
そして、何と素晴らしい夕べになったことでしょう！
これが今回の浜松での2日間の印象でした。
「四季のコンサート」という、明快かつチャミングな
ネーミング、年会費5,000円ですべてのコンサートが聴
けるという驚愕のお値段（恥ずかしながら自分の出演す
るコンサートのチケット代にまるで疎い僕にも、さすが
にこれは凄いインパクトでした）、ドレスアップした女
性の小ぶりのバッグにもすっと入る、コンパクトの形な
がら内容は実にしっかりとした本格的な解説の付いたプ
ログラム、少し遅れて着かれたお客様をどうお入れするか、
又、何よりの記念となる出演者のCD販売やサイン会等、
お客様への徹底した心遣い、ひたすら良い演奏が出来る
ようにとの出演者への様々な気配り等々、すべてが常に
本当の意味で「音楽を楽しみたい」「楽しませたい」と
いうハートフルな気持ちに貫かれていたことに頭の下が
る思いです。
開演の少し前、用事で浜松音楽友の会のスタッフの控え
室をノックしドアを開けると、思いがけず、ずらりとお
揃いの妙齢のご婦人方のお弁当開きをなさっている光景
が目に入り飛んで来て、一瞬思わず、たじたじとなっ
てしまいましたが、そのまっすぐな暖かさは、演奏前のナ
ーバスな不安さえもすっきり解かしてくれるようでした。
今回浜松のリサイタルで歌わせていただくにあたって、

かねてからの念願であった「ま
っすぐな演奏」というものを目
標にコツコツ準備致しました。
馴染の好きな曲でプログラムを
組み立てさせて頂きましたが、
その1曲1曲に改めて正面から
向き合い、新しく勉強し直して
みました。詩の捉え方、一言一
言の解釈、メロディー、リズム、
休符に至るまでの感じ方、曲の
構成を本当につかめているか、
そもそもその曲の一番自然な
本当のテンポは？



写真：藤原栄治

…先入観を捨て思い込みを正し、楽譜のごく細かい書き
込みまで徹底検証して、無駄を日々削って行くと、それ
ぞれの曲の、想像を絶する美しい姿が見えてきました。
後は、いかにそれを当日聴いてくださる方の心の奥底に
までまっすぐお届けできるか…です。「人事を尽くして
天命を待つ」心境で浜松入りすると、友の会の方々のま
っすぐな情熱が僕のまっすぐな準備がどう脱線しようも
ない位、常にしっかりと支えてくださって、実に「まっ
すぐな演奏」が実現、そしてそれをお客様がまっすぐに
受け止めてくださっているという実感をコンサートの冒
頭から強く得ることができ、こうして永年夢見た「まっ
すぐなりサイタル」が実現致しました。
あまり嬉しくてアンコールの時、思わず今年で還暦を
迎えたことまで明かしたほどでした。
皆様にはお礼の言葉もありません。浜松音楽友の会の一
層のご盛会とこれからの「四季のコンサート」の益々の
充実を心よりお祈りしております。



「夏のコンサート」7月2日

Taro Ichihara
市原多朗

心を開く

リサイタルを間近に控えたゴールデンウィーク。何気なくテレビを見てみると、女優・大竹しのぶさんのドキュメンタリーが始まりました。

その中の「“心を開いていない人のお芝居なんてみたくないでしょ?”」という大竹さんの言葉に、私ははっとさせられました。“私は心を開いた歌、歌えているだろうか…”

その直後のレッスンで、ちょうど師匠もその番組をみていらっしまったようで、話題に上がりました。このタイミングでこの言葉。きっとこれは今の私に課された課題なのだと感じました。

そんな思いで迎えたリサイタル当日。

浜松で生まれ育った私が、幼い頃から慣れ親しんだはまホールでリサイタルをさせていただけることの喜び、大舞台だからこそそのプレッシャー、私にやり遂げられるの



「浜松の演奏家シリーズXVII」5月22日

だろうかという不安、様々な思いと共に舞台上がりました。始まってしまえば本当にあっという間、お客様の拍手に後押しされ、パワーをいただき最後まで気持ち良く歌わせていただくことが出来ました。

また、お客様はもちろん、音楽友の会のスタッフや、舞台スタッフの皆さんはじめ、たくさんの方の恩師、家族、友人、ピアニスト…たくさんの方が私を支え、力を貸してくださり、舞台の幕を開け、閉じることができたのだと、本当に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

私が“心を開いた歌”が歌えていたかどうか…それはお客様のみぞ知るところではありますが、一人でもそんな風に感じてくださった方がいらっしまったらこんなに嬉しいことはありません。

今後も周りの方への感謝を忘れず、先人の残した素晴らしい作品を、その作り手、音楽、聴き手に恥じない、嘘のない演奏ができる演奏者であるよう、私なりの“心を開いた歌”が歌えるよう、日々精進したいと思います。本当にありがとうございました！

声楽家 中島実紀



音によせて

浜松に引っ越してまいりまして30余年、四季のコンサートに入会させていただき27年になりました。月日の経つのは本当に早く世の中の変り様のスピードも早く感じますのは、年を重ねたからでしょうか。変わらないことに出会いますと何かほっとするのは、私だけのことなのではないでしょうか。浜松の駅を始め街の中も30年前とはまったく別のようにになりました。その中で通い慣れたはまホールの四季のコンサートにまいりますと演奏が始まります前に気持ちが落ち着き、スーと演奏に聴き入る事ができるような気がいたします。

私の娘時代（50年以上前）は、クラシックの演奏会があまり開催されておらず、それでも機会があると出来るだけ聴きに行ったものでした。昔耳にした曲がFMから聞こえてきますと一瞬娘時代に戻ったような気分になり

懐かしく聴き入っております。

若い時に自分の心の中に大切に仕舞ったメロディーは、長い人生の折々に気持ちの糧になってくれるような気がいたします。洗練された演奏者の方の生の音を聴くのは又違った思いが響いてくるのではないのでしょうか。音楽の力をお借りして今の殺伐とした世の中が少しでも潤いのあるやさしい世の中になります様、ぜひ小中高生の方やお若い方々が演奏会にお出かけなさいます様願ひ上げます。

最後になりましたが、スタッフの皆様のお苦勞は想像に余りあるものと思います。心よりお礼申し上げ、この会が益々発展し末長く続けていただけることを念じております。

友の会会員 阿部照子

友の会のコンサートは、たくさんの素敵な音楽に触れあえる場です。年に五回の演奏会があり、そのどれもがとても魅力的です。

わたしはピアノを習っていますが、ピアノ以外の歌や楽器の演奏会に行く機会はあまりありませんでした。しかし、友の会に入って、ほかの歌や楽器の演奏を聴くことが多くなり、そのひとつひとつが、刺激的でした。

初めて弦楽四重奏の演奏を聴いたのもこの友の会の演奏会でした。なんて素敵な音色なんだろうと、とても好きになりました。

ピアノのコンサートも、もちろん素敵なものばかりです。また、友の会のコンサートは、地元の演奏家の人たちを

知るきっかけにもなりました。

浜松の演奏家シリーズでは、各地で活躍されている浜松出身の演奏家の人たちがコンサートをおこないます。そこに出演される方たちはみんな、浜松の誇る演奏家ばかりです。そんな人たちが浜松出身だと知ること、少しだけ身近に感じられてとても嬉しくなります。応援しようという気持ちが沸いてきます。

友の会は、たくさんのすばらしいコンサートが聴けて、いろいろな楽器を知ることができ、地元出身の演奏家たちを通して浜松をもっと愛することができる、とても素敵な会です。

これからのコンサート予定

秋

イングリット・フリッター ピアノリサイタル 10月11日(月・祝日) 6:45PM

1973年アルゼンチン・ブエノスアイレス生まれのピアニスト。2000年ショパン国際コンクールで2位を受賞。以来世界中の音楽祭や演奏会で活躍。2006年ギルモア・アーティスト(4年に1人を選出)では、世界各地における数多くの演奏が評価されて受賞。特にケネディ・センターでのアメリカ・デビュー・リサイタルは、“「音楽的な知性」と「温かい人間性」がステージ上で共演した”と、ワシントン・ポストに評され、大絶賛されました。



プログラム

ベートーヴェン/ピアノ・ソナタ 第18番 変ホ長調

ベートーヴェン/ピアノ・ソナタ 第17番 ニ短調 Op.31-2 「テンペスト」

ショパン/ワルツ

第2番 変イ長調 Op.34-1 「華麗なる円舞曲」

第10番 口短調 Op.69-2 遺作

第6番 変ニ長調 Op.64-1 「小犬のワルツ」

第7番 嬰ハ短調 Op.64-2

第8番 変イ長調 Op.64-3

第1番 変ホ長調 Op.18 「華麗なる大円舞曲」

第11番 変ト長調 Op.70-1 遺作

第19番 イ短調 遺作

第16番 変イ長調 遺作

第5番 変イ長調 Op.42 「大円舞曲」

冬

シュテファン・フツソング アコーディオンリサイタル 12月3日(金) 6:45PM

1962年ドイツのケラー・バッハ生まれ。バロックから現代曲までの幅広いレパートリーを持ち、世界中で活躍するアコーディオン奏者。1983年フーゴ・ヘルマン・アコーディオン国際コンクールで優勝。1987年ガウデアムス現代作曲家国際コンクールでアコーディオン奏者として初の優勝。アコーディオンの超絶技巧と芸術性を確立し、進化させています。ドイツの香りあふれる本格的なアコーディオン演奏をお楽しみください。



写真：得能通弘

プログラム

雅楽(10世紀)/盤渉調(ばんしきょう)の調子

アドリアーナ・ヘルツキー/ハイウェイ・フォー・ワン

ジョン・ケージ/ドリーム

J.S.バッハ/いざ来ませ、異邦人の救い主よ BWV659

ユッカ・ティエンス/ファンダンゴ

I.ストラヴィンスキー/タンゴ

原田敬子/Book 1

J.S.バッハ/深き淵より、われ汝に呼ばわる BWV687

S.グバイドゥーリナ/プロフンディス

アントニオ・ソレル/ソナタ 第45番ト長調

ドーリス様式によるソナタ 第47番

ソナタ 第62番 ハ長調

2011年 四季のコンサート 予定

春 小林美恵(ヴァイオリン) & 長谷川陽子(チェロ) & 仲道祐子(ピアノ) トリオ 4月15日(金)

3人の女神による夢のコンサート。クラシック音楽界のミューズ、小林美恵、長谷川陽子、仲道祐子の3人が、お話付きの優しい素敵な時間をお届けします。柔らかなヴァイオリンの響き、瑞々しいチェロの音色、そして清らかなピアノの調べ。有名な曲から隠れた名曲までを魅力的な雰囲気の中でお楽しみください。ソロ、デュオ、トリオとバラエティ豊かな編成でお贈りいたします。

夏 デュオ・クラピア 赤坂達三(クラリネット) & 三船優子(ピアノ) 6月17日(金)

フランス音楽とアメリカ音楽…。一見、結びつきがないように思いますが、実は印象派の後のフランス音楽は、ハリウッド映画と深い関係がありました。パリ国立高等音楽院で学んだ赤坂達三(クラリネット)とアメリカのジュリアード音楽院で学んだ三船優子(ピアノ)の強力タッグが、本場のフランスとアメリカ音楽を中心に素敵なプログラムをお届けします。笑いあり、涙あり?!クラシック音楽から懐かしの映画音楽の世界まで、ご一緒に音楽の旅を楽しみませんか?

秋 錦織健 テノールリサイタル 10月8日(土)

クラシック界での演奏活動にとどまらず、自らオペラ・プロデュースを手がけるなど活躍の場を拡げる「マルチ・テノール」錦織健が、皆様のご要望にお応えして、「四季のコンサート」によいよ登場いたします。日本の叙情歌からカンツォーネ、オペラ・アリアまで、そのミラクル・ボーカルをたっぷりお聴かせします。ユーモアあふれるおしゃべりもお楽しみください。

冬 チョ・ソンジン ピアノリサイタル 12月予定

韓国ソウル生まれ。2008年、青少年のためのショパン国際ピアノ・コンクール(モスクワ)第1位受賞。2009年、第7回浜松国際ピアノコンクールでは15歳(同コンクール史上最年少)で第1位を受賞。審査委員長の中村紘子に「圧倒的な桁外れの才能」と評され、注目を浴びました。同年12月、チョン・ミョンファン指揮ソウル・フィル管弦楽団と共演。2010年には東京オペラシティでのリサイタルや、PMFオープニング・コンサートでのPMFオーケストラとの共演、さらにNHK交響楽団との共演も果たすなど、世界に羽ばたくピアニストの道を歩み始めています。

浜松出身の演奏家シリーズ

鳥山明日香 ピアノリサイタル 11月予定

浜松市立南部中学校、桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部卒業後、ハンガリー国立リスト音楽院、パリ・エコールノルマル音楽院で研鑽を積む。イタリア文化庁主催バウシリボン国際ピアノコンクール第1位、ファッツァ国際音楽コンクール第1位、フレデリック・ショパン賞国際ピアノコンクール(イタリア)第2位等受賞。日本とハンガリーにおける演奏活動のみならず、イタリアの音楽祭にも度々招かれ、活動の場を拡げている期待のピアニスト。CHANEL Pygmalion Days(東京)参加アーティストとして3月より7回のリサイタルが開催されています。常葉学園短期大学ピアノ科非常勤講師

各回共 於：はまホール

★会員の皆様へのお願い★

会員日より 皆様のご寄稿をお待ちします。400字詰原稿用紙2枚以内で、テーマは自由です。

会員登録は、年度が変わってもそのまま継続されます。

退会希望の方は、ハガキに住所・氏名・電話・会員番号をご記入の上、前年度の12月末日迄に、事務局宛に退会の旨をご連絡ください。

名義変更の方は、ハガキに旧会員と新会員の住所・氏名・電話・会員番号(旧会員の)をご記入の上、事務局宛お送りください。

保育室ご利用の方は、コンサートの前日までに、岡本 ☎053(466)5417までお申込みください。

開演時(開演30分前)から終演までお預かりします。1回500円です。

●インタビュー・花束贈呈係を募集しています。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

個人情報の取り扱いについて

当会は個人情報の取り扱いについて「個人情報の保護に関する法律」及びその他の関連法令及びその他の規範、ガイドラインを遵守し、個人情報について適切な管理・取り扱いと保護に努めます。